

県内避難者支援 みえで仲間をつくり隊！

東日本大震災により、東北・関東から多くの方が三重県内各地に避難・疎開し生活をされています。震災から3年近く経過した現在も帰郷される方は少なく、今もふるさとを離れての避難・疎開生活や生活再建に、不安を感じる声が絶えません。

みえ災害ボランティア支援センターが、そういった県内避難者の方々の支援活動として、平成23年7月から取り組んでいる「みえで仲間をつくり隊！」も3年目を迎えました。三重県での生活をより楽しんでいただく事を目的とした平成24年の活動に引き続き、主に交流イベントを中心として、センタースタッフ、事務局ボランティア、企業・団体の協力を得て取り組んできました。

■三重県の情報誌「月刊 Simple」等の定期発送および関係各所からの情報提供

三重県の情報誌「月刊 Simple」や、三重県内のイベント・相談会の情報、東北三県からの情報や支援団体からの交流会のご案内を毎月1回定期的に発送しました。また、ホームページ等での案内も随時行いました。定期発送以外にも必要に応じて臨時発送を行うなど、避難されてきた方々にいち早く情報をお届けしました。

■交流イベント「楽しみ隊」

県内各地でイベントを開催し楽しんでいただく「楽しみ隊」。参加された皆さまに楽しんでいただくだけでなく、スタッフも一緒になって楽しむイベントを企画・開催しました。

第7回楽しみ隊 in 五桂池 開催日：5月19日 会場：五桂池ふるさと村 参加者数：20人

子ども達だけではなく大人の方にも楽しんでいただける旬の味覚と、動物とのふれあいを楽しんでいただこうと開催いたしました。当日は、時折り小雨の降る天候でしたが、美味しいイチゴや普段はふれることのない動物、そしてボランティアによるミニコンサートと、盛りだくさんの内容で賑やかな一日を過ごしていただくことができました。



(参加者の声)

- ・楽しかったです。お弁当だったので、皆さんと（ボランティアの方とも）いっぱい話が出来て良かったです。
 - ・いちご摘みは子供も楽しんでたくさん食べていました。甘くておいしかったです。
- 動物園はあいにくのお天気でしたが、スタッフの方が傘を持ってきてくれたり、屋根の下で色々なふれあいができたので、とても良かったです。



第8回楽しみ隊 in うきさとむら 開催日：8月25日 会場：うきさとむら 石窯ふれあい工房 参加者数：13人

豊かな自然の中で、なかなか体験する機会のない石窯を使ったピザつくりを開催しました。自分の手で生地からつくって石窯で焼き上げたピザは絶品。朝からあいにくの雨でしたが、落ち着いた空間で話も弾み、お腹いっぱいになった一日でした。

(参加者の声)

- ・楽しい雰囲気スタッフの方も気さくに話かけて下さり満喫できました。自分でピザをのばしてトッピングして石窯で焼き上げてもらって、最高においしかったです！自然たっぷりの場所でおいしいものをたくさん頂いて癒されました～！
- ・初参加でドキドキでしたが皆さんの笑顔になごみました。
- ・みなさまに優しくしていただき、子どもたちもすぐ地を出して、楽しくすごさせていただきました。火吹き竹、川魚の塩焼きなど、ふだん体験できないことをさせて頂きました。また、様々な方とお話出来た事もとても嬉しかったです。ありがとうございました。



最後となる楽しみ隊は、平成23年11月の第1回楽しみ隊で好評を得た芋煮会を再び開催。みんなで一緒に材料を買って、作って食べて、油田公園の広い芝生の中、何種類もの温かい芋煮に舌鼓をうちました。芋煮をいただいたあとは、みんなで話をしたり子どもたちと遊んだり、楽しい一日でした。



(参加者の声)

- ・イモ煮を皆でワイワイ作って食べて、とても楽しくおいしい時間でした。数回参加させて頂きましたが、毎回楽しくスタッフの方も気さくであたたかく、感謝、感謝です!!最後ということで、さみしいですが、また何かの機会にお会いできるといいですね…



- ・「ふれあいの館」「まめや」から始まり、丹生の自然豊かな場所で、スタッフさん、ボランティアさんがいつものようにあたたかく子どもたちを見てくれたり、遊んでくれたり、私は野菜を切るのに集中してました。このようなすてきな場所で避難者の方、スタッフの方たちとお話ししたりすることができて良かったです。

楽しみ隊ではありませんが、3月11日を迎えるにあたり、心を落ち着ける坐禅体験を開催しました。

(参加者の声)

- ・坐禅は初めてでしたが、非常に落ちついた気持ちになれた気がします。
- ・経験した事ない事ができよかったです。なかなか他の地域に出かける事がないので、その点もよかったです。



■生活支援（コープみえ・くらしたすけあいの会協働事業）

東日本大震災で三重県に避難されている方々への支援の一つとして、コープみえ・くらしたすけあいの会のシステムを活用した事業を今年も実施。5月1日～9月30日の期間で利用料等の一部を協働で支援しました。

啓 発 活 動

■三重からみつめた東日本大震災（3月17日）

東日本大震災から2年が経過し、世間の関心が薄れ、震災が過去のものとなりつつありました。支援活動を行っている方がみつめた2年間と、被災・避難された方々の思いをお聴きすることで、私たちがこれからできることを考えるための報告会を開催しました。

三重県内の避難者支援活動を行っている方々と実際に避難されている方、三重から被災地の支援活動を続けて行っている方々と被災当事者の方、それぞれの立場からこれまでの2年と今をお話いただきました。

また、基調講演の講師として、精力的に東日本大震災支援に取り組まれているタレント・山形弁研究家のダニエル・カールさんをお迎えし、震災当時からこれまでの取り組みをユーモアを交えながらお話いただきました。講演後には鈴木英敬 三重県知事との熱い対談もあり、様々な立場から2年と今を考える機会となりました。

